

2014年7月28(月)

フロパン・フタン=ユース

## 軽油にLPガス混合

だるまエナジー(本社・東京、古田洋二社長)は城東自動車工場(同、鈴木啓一社長)と共同で、今年度の構造改善支援事業で最新のディーゼルトラックを軽油とLPガスの混合燃料で走らせる実験を行う。原油高で軽油価格も上がり、トラックユーザーの燃費削減意欲は高い。割安なLPガスが一部でも軽油を代替できるとなれば、大きな注目を浴びそうだ。

## トラック向け開発へ

両社は2〜4ト積みディーゼルトラックを使い、団体に技術可能性、経済性をPRする。状態。車種幅が限られること、ディーゼルトラックの力強さが容器配送車として好まれる傾向にあるのみで走るが、これにLPガスと、過去には混合燃料で走るディーゼル車を使うことが必要。環境意識の高いユーザーが、最新のディーゼル車を使うことも混合できれば、少しいかなるLPガス需要は莫大になる。

**だるまエナジー 構造改善事業で検証**

これまでLPガスの割合を増やせるか検証する。その周知されていない。使用しているほか、LPガスの混合燃料で走ったとき、日本ではLPガスだけトラック向け燃料需要を開発しているが、LPガスはトの経済性や走行性能も調べる。これらの結果をもとに、トラックユーザーに売れていないのが現実である。

一方で最新ディーゼル車は、環境負荷対策など過去にはなかった技術や設備が備わっており、機構が複雑化している。どのような実証試験結果が出るか注目される。